

令和7年度全国学力・ 学習状況調査の結果から

敦賀市立中央小学校

本年度、6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、分析結果から考えられる本校児童の特徴や成果と課題についてお知らせいたします。

成果が現れている点

国語

- ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。
- ◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。
- ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。

課題となる点と支援策

△漢字を文の中で正しく使うこと。

このみ→好み

💡文章を読み進めていく際には、言葉や熟語の意味を調べたり確認したりしながら進めていきます。

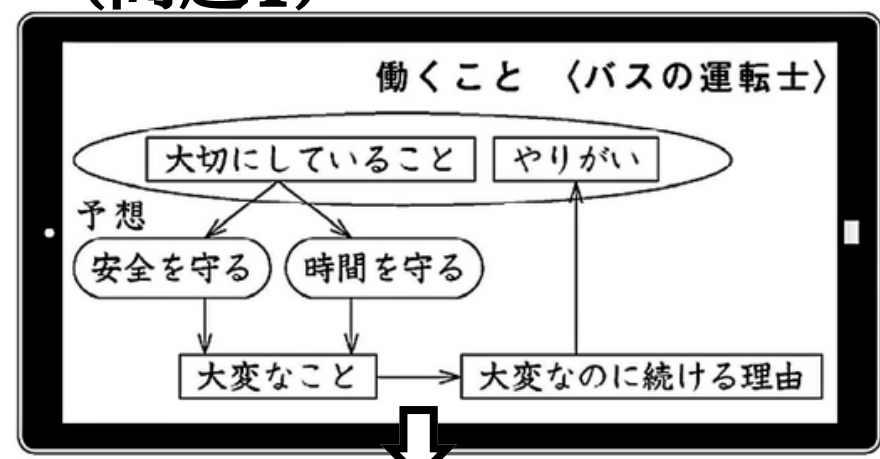
△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うこと。(問題1)

💡話し合いの内容を整理して記録することで、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができます。そのため、メモを取ったり、自分の思考をまとめたりする活動では、シンキングツールの活用や、要点を見つけて書き出すこと、矢印や色の効果的な活用を進めます。

△話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。(問題2)

💡朝の会のスピーチや授業などで、友だちの発表や考えについてどう思ったのか、友だちの考えでよいと思った考えは何かなどを伝えたり振り返ったりする時間を充実させます。

(問題1)



【話し合いの記録】

【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして、最も適切なものを次から選びましょう。

1. 質問する内容を丸で囲み、質問しない内容に線を引いて区別している。
2. 質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理している。
3. 質問する内容を短い言葉で書き、線でつなぐことで質問を一つにしぼっている。
4. 質問する内容をできるだけ詳しく書き、多くの質問ができるようにしている。

4 自分が共感した内容を取り上げて、話題を広げようと考えたから。

3 相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めることができたから。

2 自分が聞こうとしていた内容のほかに、新たに聞きたいことが見つかったから。

1 相手の答えは自分の予想どおりであることが分かったから。

(2) 「インタビューの様子の一部」の小森さんが——部イのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

出発する前に、自分でもバスの点検をしますが、整備士も定期点検をしています。そのほかに、私たち運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいます。

なるほど。たくさんの方が、乗客の安全を支えてくださっているんですね。私たちは時間を守ることも大切だと思っていましたが、私たちが思っていた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。

バスの安全な運行のためには、大変なこともあると思いますが、いかがですか。

〜(インタビューが続く)〜

(問題2)

成果が現れている点

算 数

- ◎数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること。
- ◎台形の意味や性質について理解していること。
- ◎簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶこと。

課題となる点と支援策

△棒グラフから、項目間の関係を読み取ること。(問題1)

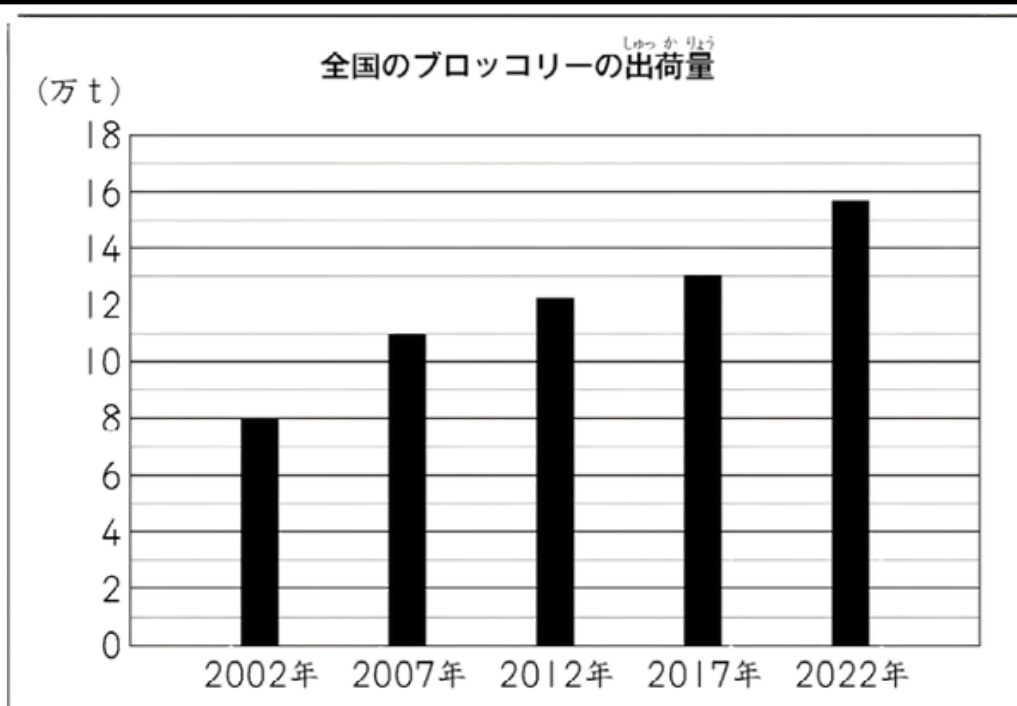
- 💡グラフの読み取りでは、タイトル・縦軸や横軸の目盛りや単位など基本情報やどのように変化しているかについて、算数以外の学習でも積極的に取り入れていきます。
- 💡「〇〇は△△の何倍」の理解については、テープ図や関係図などを使うことで関係性の理解を深めていきます。

△伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること。(問題2)

- 💡問題から立式に至る過程で、
 - ①問題を読む
 - ②分かること・求めることを見つける
 - ③解決に必要な数字を見つける
 - ④図に表す
 - ⑤立式という流れに慣れることで、問題を読み取る力をつけ、文章問題に対する苦手意識が低くなることを目指します。

△「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すこと。(問題3)

- 💡文章問題では「増えた分」と「増量後の量」などの言葉の違いに目をつけることや、作図を通して答えの見通しが持てるような学習を進めていきます。



2022年の全国のブロッコリーの出荷量は、2002年の出荷量の約 倍になっています。(問題1)
正答:2倍

このハンドソープの液体と容器を合わせた重さは270gでした。
使いかけのハンドソープが空になるまでにあと何プッシュすることができるのかを知るためには、270gの他に何がわかればよいですか。
下の ア から エ までの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。
また、その2つと270gを使って、あと何プッシュすることができるのか、その求め方を式や言葉を使って書きましょう。(問題2)

ア	新品のハンドソープの重さ	360g
イ	ハンドソープの容器の重さ	60g
ウ	1プッシュ分のハンドソープの液体の重さ	3g
エ	かなさんが1日に手を洗う回数の平均	7回

正答例
使いかけのハンドソープの液体の重さは、 $270 - 60 = 210$ で、210gです。
あと何プッシュすることができるのかは、 $210 \div 3 = 70$ で求めることができます。

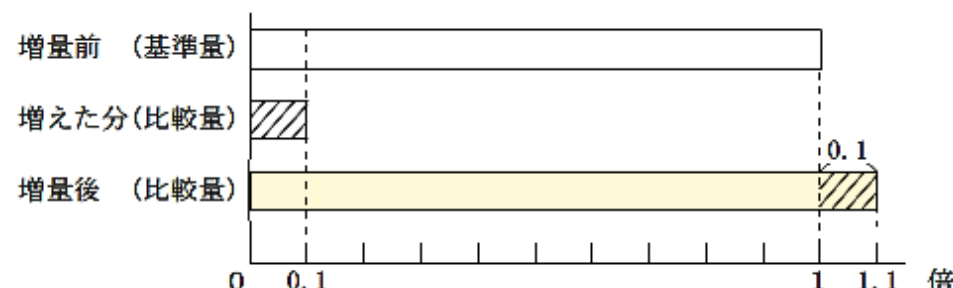
(問題3)

広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。
増量前のつめかえ用のハンドソープの量は800mLです。

増量前 (800 mL) $\xrightarrow{\quad}$ 増量後
 倍
正答1.1倍

増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。

(作図例)



成果が現れている点

理科

- ◎電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いている。
- ◎レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。
- ◎水の温まり方について、問題に対するまとめを導きだす際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること。

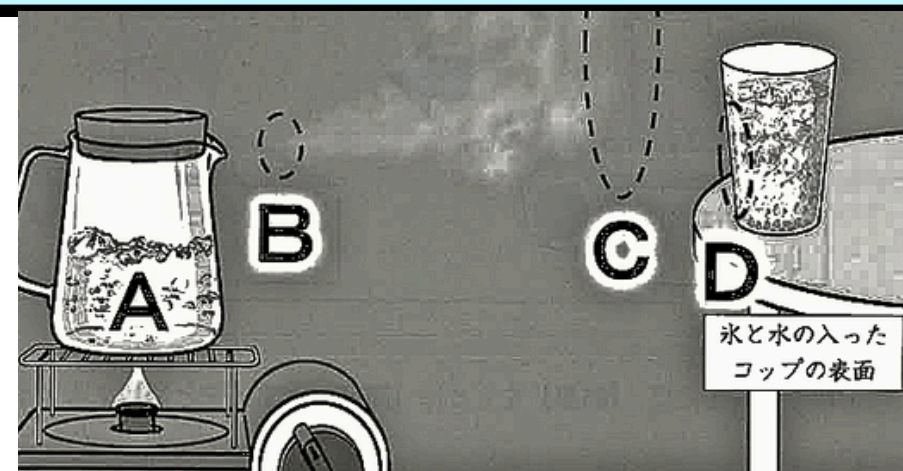
課題となる点と支援策

△顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能。

💡操作方法や手順をただ覚えるだけでなく、実際の操作を通して身につけていくことが重要なので、実際に操作する機会を増やしていきます。

△水の蒸発・結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解していること。(問題1)

💡実験や観察を通して、学習したことを他の学習や生活場面と関連付けた学習(水たまりの蒸発や窓の結露の様子など)を進めていきます。



(問題1)

Aで、液体の水は温められて、ふっとうしている。

Bで、水蒸気は冷やされて、湯気になっている。

Cで、湯気は(イ)で、(ウ)になっている。

Dで、(ウ)は(エ)で、(オ)になっている。

(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
1 蒸発し	4 水蒸気	7 蒸発し	10 水蒸気
2 ふっとうし	5 液体の水	8 温められ	11 液体の水
3 温められ	6 氷	9 冷やされ	12 氷

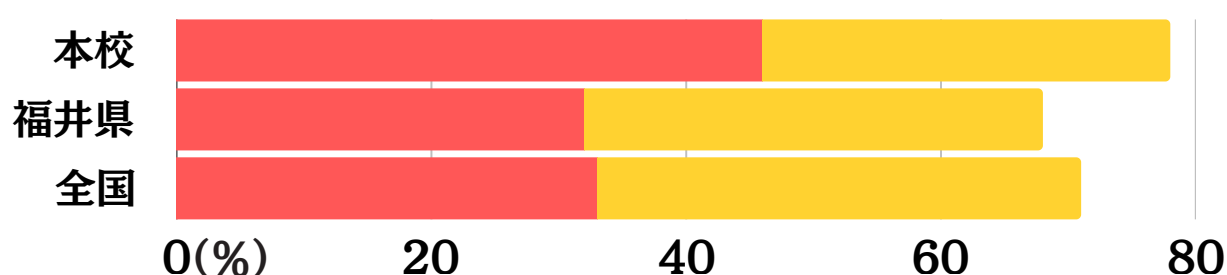
※各教科とも出題部分は「令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題」(国立教育政策研究所)を加工して作成

成果が現れている点

質問紙調査の結果から

◇困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

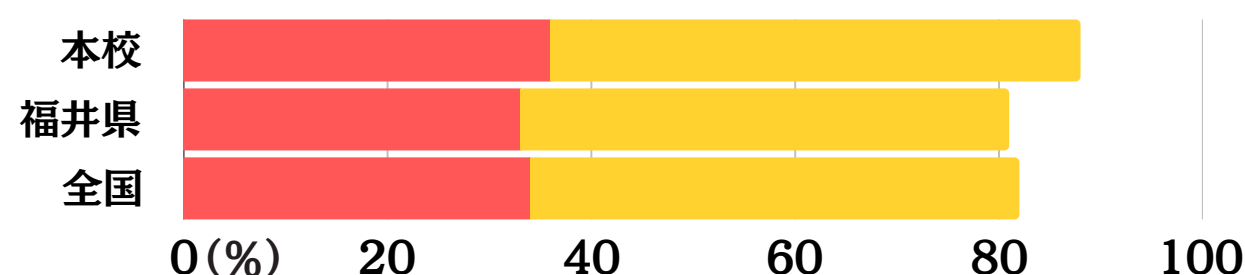
● 当てはまる ● どちらかといえば当てはまる



◎児童がこれからも安心・安全な学校生活を送ることができるように、定期的な教育相談やこまめな声かけを続けていきます。

◇地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

● 当てはまる ● どちらかといえば当てはまる

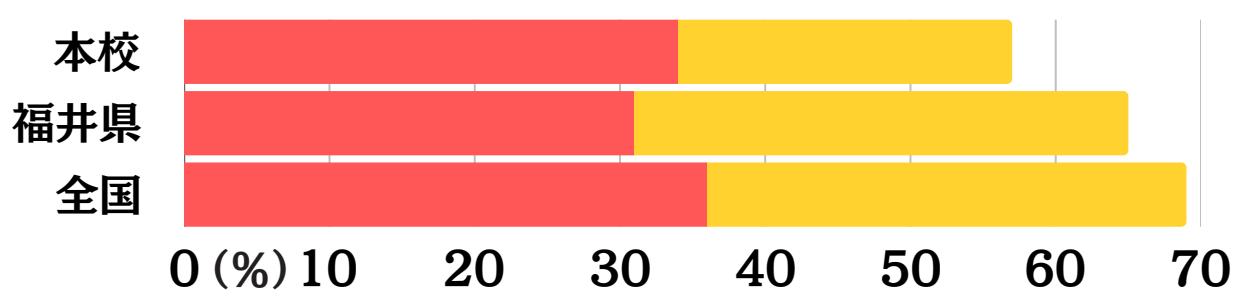


◎これからも、生活科や道徳科、総合的な学習の時間を中心に地域への興味・関心を深められるような学習を進めていきます。

課題となる点と支援策

◇読書は好きですか

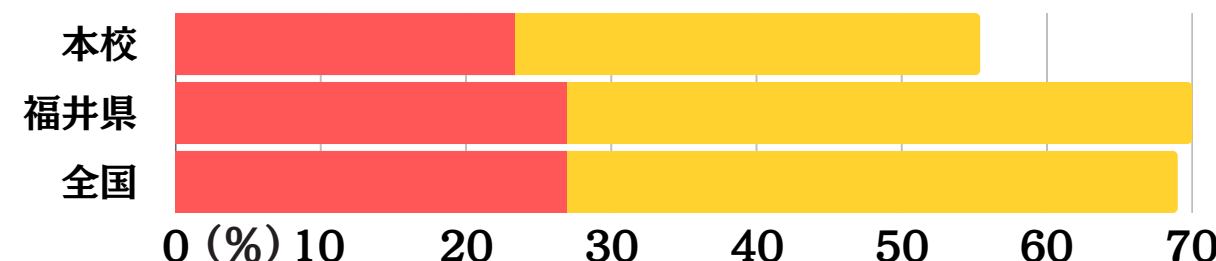
● 当てはまる ● どちらかといえば当てはまる



💡読書週間や教員のブックトークや読み聞かせなどの取り組みの継続など、今後も楽しんで本にふれる機会を設定していきます。

◇5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

● 発表していた ● どちらかといえば発表していた



💡発表の「目的」と「相手」を意識させて意欲を高め、話の組み立て方を発達段階に応じて指導する機会を増やしていきます。